

ネパール視察結果及び今後の対応について

記

1. 視察日程

2025 年 4 月 20 日(日)～24 日(木)

- ・ 往路:20 日(日) 9:15 羽田空港発→21:45 トリブバン空港着
- ・ 復路:23 日(水)23:00 トリブバン空港発→24 日(木)15:45 羽田空港着

2. 視察先

- ・ 送出機関 : WORLD FAVOUR OVERSEAS
<https://wfo-jp.com/>
- ・ 送出機関 : SUCCESS NEPAL MANPOWER AGENCY
<https://www.successnepalmanpower.com/>
- ・ 在ネパール日本国大使館、医療施設等

3. 視察者

- ・ 外国人材受入事業会議 担当役員 山本 登
- ・ 外国人材受入事業会議 構成員 大田 泰正
- ・ 外国人材受入事業会議 構成員 須田 雅人

4. 視察内容

(1) 4/20-21 空港到着、カトマンズ市内の様子。

空港から車で約 20 分のホテルに到着。市内は埃だっており、交通量は多く朝夕は渋滞。日本と同じ右側通行、車は右ハンドル、信号はほぼなく警察官が手信号で交通整理。車はスズキ、ヒュンダイ、まれに EV のテスラ、BYD が走行。二輪車も多くガソリンはリッター190 円、車の輸入関税は 300% とのこと。

< 空港到着、市内の様子 >



(2) 4/21 午前 送出機関 WORLD FAVOUR OVERSEAS の視察

ビナヤ氏（日本語教育アドバイザー）、リラ氏（マーケティングディレクター）と打合せ。

< 施設、関係者の様子 >



カトマンズにあるこの送出機関は 2004 年設立、日本語学校を 3 つ持っている。候補者からは 50 万ルピー（約 50 万円）を学費として徴収し、各自がカトマンズ市内のアパートで共同生活をしながら通学している。現在約 600 名が在学中で 50 名以上を介護実習生として送り出し、宮崎県にある病院にも送出した実績もある。候補者の内訳は男性 6 割、女性 4 割、女性はほぼ介護実習生で介護福祉士を目指す。

これまで中東派遣が多かったが、性的問題が多いため、日本は安全という理由から日本に行く人が多くなった。候補者の多くは高卒で、日本語学校入学時に学力適性を見極めてから入学し、約 1 年から 1 年半の日本語、介護、慣習の教育を行い、日本語能力 N3（NAT-TEST）で入国させる。

ネパールの人口は約 3,000 万人、そのうち約 800 万人が出稼ぎで中東、インドなどに行く。現地の月給は 1.5～2 万円、産業は農業と観光が中心、カトマンズには約 400 万人が住んでいる。一方地方では就職機会が少ないため、若者はほぼ出稼ぎに外国へ出国する。女性は結婚しても別居している夫婦も普通であり、お金を稼ぐことが優先する。

ネパール人は大家族で生活をする文化があるため、祖父母の世話をする機会があり、そのため介護という仕事を目指す若者が多く、人の世話をすることには慣れている。またコミュニケーション能力が高い人が多く、ネパール語の文法も日本語と同じため、日本語習得能力が高く発音も綺麗な印象であった。

実習生（高卒）1 人の費用（入国後にお支払い）

① 病院が送出機関へ支払う費用は、

・ 日本語教育委託費用 90,000 円

・ 入国前講習及びネパール大使館への手続き等の費用 66,000 円

※往復の渡航費は別

② 全日病が送出機関へ支払う費用は、5,000 円（毎月）

既に介護実習生として京都、愛媛の施設で内定を得ている候補者 3 名との面談を行ったが、教育開始 7 か月で N4 レベル。

※その様子は下記 URL から動画でご確認ください。

(3) 4/21 午後 Nepal national hospital の視察

院長 Dr.Prakash Paudyal 氏との情報交換を行った。この病院は私立の急性期病院である。山本担当役員からネパールに来た目的を告げたところ、院長から日本の病院で医療従事者の研修をすることができないかなどの提案があったが、山本担当役員から、日本のルールで細かいことがあり、例えば医療行為に関しては国家資格が必須なことや渡航費用、滞在費用等の面も含め、課題をクリアする必要があると説明した。

大田構成員からは、実際に研修名目でベトナム人医師を連れてきたことがあるが、彼らの関心事は技術よりもシステムであったことなどを説明した。

その後、院内見学を行い終了した。患者の療養上の世話は家族が行い、オレンジ色の上着の人は看護師。

< 施設、関係者の様子 >





(4) 4/22 午前 日本国大使館訪問
横山 一等書記官及び関谷 専門官と面談

日本にいるネパール人は約 23 万人。そのうち留学生が約 8 万人、技術人文知識(在留資格)が約 6 万人、特定技能や技能実習で約 1 万人未満。ネパール人の気質は真面目、与えられた仕事はきちんとや

る印象、言語能力が高く英語もできる人が多い。日本人との親和性が高いと言われている。

先日静岡県庁がネパール現地でセミナーを行なった。県内にいるネパール人が東京へ流れてしまうという悩みがあるとのことであった。ネパールにもたくさんの送出国があるが、悪質な送出国もあるので見極めが重要である。ネパール人は隠すことがうまいので気をつけて欲しい。

ネパール人の海外出稼ぎ先は、オーストラリアが最優先、次に日本、中東、マレーシアと続く。農業の話に関していうと、農業の生産性が低い。若者がお金目当てに海外へ就職し、ネパールの農業発展に寄与していない現状がある。ネパール人のビザ申請は留学ビザのピークが2月から4月であり、この処理に膨大な時間を要しているので、この時期を外されたほうが賢明である。

(5) 4/22 午後 ネパール労働省訪問

労働省の広報官(序列3位)と面談

ネパールは今、韓国語ブームであり、多くの若者が韓国へ出稼ぎに行く。ネパールと韓国は協定を結んでおり、結びつきが強くなっている。今回日本から訪問いただいたが、民間でもできることをどんどんやっていただきたい。

それと技能実習生が日本へ出国するために日本語能力試験の他にネパール国内でもう一つ試験を課している団体(団体名ジャン)がある。この試験に合格しないとビザが発給されない現状であり、これが余計な負担になっていることから、どうにかならないかと提案があった。

< 施設、関係者の様子 >



(6) 4/22 午後 送出機関 SUCCESS NEPAL MANPOWER AGENCY 訪問

代表取締役社長のマニシュ氏、日本人女性の日本語講師（ネパール在住 10 年）と打合せ

2008 年に語学留学生の派遣から始め、2011 年にこの会社を設立し、主に中東へ建設業の人材送出し、2018 年から介護実習生の送出しを始めた。午前は就職先が決まっていない学生向けの授業、午後は面接合格者向けの授業で、現在約 280 人が勉強中であり、男性が多くこのうち女性は 10%以下である。その理由は中東へ建設業中心の人材送出しをしていたこともあり、ネパール現地でもそのような口コミが広がっている印象。これまで日本へ送出した実習生の職種は、建設業を中心に介護職は 56 名を送出している。

< 施設、関係者の様子 >



9 ヶ月で N3 レベルのカリキュラム作成も終了し、介護実習生は N3 で送り出す。 受入病院が送出機関へ日本語費用 17 万円を支払い監理団体が送出機関へ毎月 5 千円を支払うシステム。できれば 1 クラス 15 人位を構成できる求人票数は欲しいところであるが、最低 6 人からでも検討する。すでに日本在留 4 年 4 ヶ月で介護福祉士に合格した実習生もいる。教育現場の印象としては長く日本語を勉強する学生は少ない。

ネパールは土曜だけが休日であり、日曜が試験日である JLPT 試験の開催に課題があったが、カトマンズ市内で 2 か所開催できる状況も生まれ改善されつつある。

それと労働省で問題提起があった日本語能力試験とは別の試験の存在について確認すると、13 名のネパールの上級公務員がメンバーである JICA 同窓会という団体 (Alumni Association Nepal Japan) が開催している試験がある。15 問の口頭試験 (日本語訳の確認) で全問正解が求められ、日本語能力試験 N4 や N3 を合格していたとしても、ネパールとして出国を認めない現状がある。試験費用は 1 人 3,300 ルピー (約 3,300 円) であるが、一方現地にも問題があり、偽造の N4 証明書を発行している現状もあり、面接して発覚することもある。(もしかすると、こういう不正を正すために、この JICA 同窓会なる存在があるのかもしれない？どちらが正義かは判断できず、現地の闇を感じた。)

5. 今後の対応について

今回視察した送出機関 2 社の日本語教育水準 (N3 で送出し) を鑑み、今年の 8 月に改めて現地で契約 (調印式) を取り交わしたく、何卒ご承認を賜りますようお願い申し上げます。

以上

参考 【技能実習(育成就労) 高度人材育成コース】3年間費用

1. ベトナムの場合

- ・医療短大看護学部3年卒、看護大学卒業者、日本語レベル N3 相当
- ・費用：技能実習生(育成就労外国人)1人あたり（一例）

1 年 目		
初 期 費 用	日 本 語 教 育 費	300,000 円
	12 か 月 (非 課 税)	
	渡 航 費 (税 別 / 往 復) 季 節 変 動 あ り	70,000 円
継 続 費 用	監 理 費	480,000 円
	12 か 月 (税 別)	(月 40,000 円)
計		850,000 円
2 年 目 以 降		
継 続 費 用	監 理 費	480,000 円
	12 か 月 (税 別)	(月 40,000 円)
3 年 間 合 計		
初 期 費 用 + 継 続 費 用		1,810,000 円
この費用に毎月の給料は含まれておりません		

2. ミャンマーの場合

- ・ 一般大学卒業者(中退者を含む)、日本語レベル N3 相当
- ・ 費用：技能実習生(育成就労外国人)1人あたり

1 年目		送出機関 A	送出機関 B
初期費用	日本語教育費 12 か月(非課税)	315,000 円	250,000 円
	渡航費(税別/往復) 季節変動あり	70,000 円	
継続費用	監理費 12 か月(税別)	480,000 円 (月 40,000 円)	
計		865,000 円	800,000 円
2 年目以降		送出機関 A	送出機関 B
継続費用	監理費 12 か月(税別)	480,000 円 (月 40,000 円)	
3 年間合計		送出機関 A	送出機関 B
初期費用 + 継続費用		1,825,000 円	1,760,000 円
この費用に毎月の給料は含まれておりません			

3. ネパールの場合

- ・ 高校卒業者、日本語レベル N3 相当
- ・ 費用：技能実習生(育成就労外国人)1人あたり（一例）

1 年目		
初期費用	日本語教育費	170,000 円
	12 か月(非課税)	
	渡航費(税別/往復)	200,000 円
	季節変動あり	
継続費用	監理費	480,000 円
	12 か月(税別)	(月 40,000 円)
計		850,000 円
2 年目以降		
継続費用	監理費	480,000 円
	12 か月(税別)	(月 40,000 円)
3 年間合計		
初期費用 + 継続費用		1,810,000 円
この費用に毎月の給料は含まれておりません		

ベトナム、ミャンマー、ネパールともに3年間の合計費用は同程度
育成就労制度が開始(令和9年)した場合、現在の監理費(40,000円)を見直
す余地あり。